

System Advantages for You



お求めやすい価格で、全世界90カ国以上、6,000社以上が導入
簡単！綺麗！で確実！なネットワーク監視ツール

InterMapper 紹介資料

2021年1月

セイ・テクノロジーズ株式会社



会社概要

システム管理者やパートナーに利便性のある製品を市場に提供するためのメッセージ「**System Advantages for You**」を企業ミッションとしております。

会社名 セイ・テクノロジーズ株式会社

本社所在地

〒112-0005
東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階



資本金 / 設立

9,000万円 / 2001年3月



主要役員

代表取締役社長 三瓶 千里

事業内容

オープン系サーバーシステムの運用管理ソリューションの提供

- ・自立分散型サーバー監視ソフト『BOM for Windows』の開発・販売
- ・高機能ジョブスケジューラー『Job Director』の開発・販売
- ・サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』の開発・販売
- ・クラウドストレージ活用ツール『CSDMT』の開発・販売
- ・その他、運用管理に関するコンサルティング・技術支援・開発



Inter Mapper製品概要

直感型ネットワーク監視ツール「Inter Mapper」のご紹介

InterMapperの特徴

InterMapperはグラフィカルなアニメーションでネットワーク状況をモニタリングできるエージェントレス型の高性能な監視ツールです。



InterMapperの主な特徴10



多国語対応



- ① グラフィカルでリアルタイムな監視
- ② ドリルダウン形式のマップ
- ③ 複数の方法を組合せたアラート通知
- ④ 監視機器の自動検出
- ⑤ モバイル端末対応（ブラウザ閲覧）
- ⑥ Flowsアナライザ解析
- ⑦ 監視から資産管理まで幅広い活用方法
- ⑧ マルチプラットフォーム
- ⑨ 他ソフトとの連携が可能
- ⑩ お求めやすい価格でのご提供

ITインフラ基盤監視の課題と解決

ITインフラを監視していないお客様や既に監視しているお客様が抱えている課題をInterMapperは解決します。

監視システムを未導入のお客様

- ✓ ネットワークが遅い！原因は何？
- ✓ システム障害を特定するのに時間を要する！
- ✓ 冗長箇所のダウンに気づけなかった！
- ✓ 計画停電時の復旧確認などが大変！
- ✓ 業務継続性の維持を可視化できない！

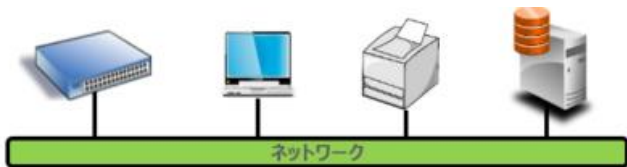
監視システムを導入済みのお客様

- ✓ 価格が高い！Flow解析がさらに高価！
- ✓ 専門スキルが無いと使いこなせない！
- ✓ そもそも監視マップが分かりにくい！
- ✓ ノード単位での導入なので導入設計が必要！
- ✓ ブラウザに依存しないシステムが欲しい！

解決するためには

一般的なネットワーク監視ツール

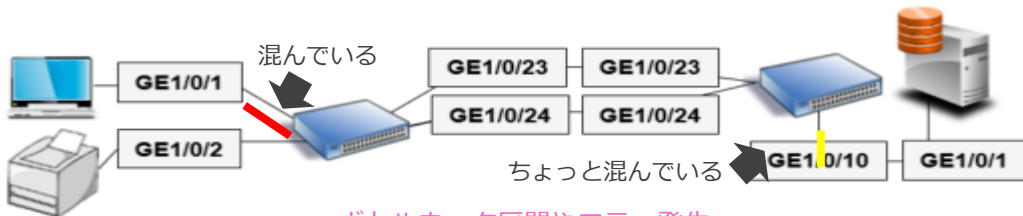
ノード単位での導入なので24ポートのスイッチ監視には24ライセンスが必要



ボトルネック区間やエラー発生
ポートをマップ上で確認しにくい

直感型ネットワーク監視ツール

機器単位での導入なので24ポートのスイッチ監視でも1ライセンスでOK



ボトルネック区間やエラー発生
ポートをマップ上にアニメーション付きで可視化



機能構成

InterMapperは、サーバーと2つのオプションで構成されており、監視に必要な機能はサーバーに標準で実装されています。

サーバー



マッピング



Visioライクな
マップエディタで
監視マップを
作成します



モニタリング



グラフィカルな
監視マップにより
ネットワーク監視を
行います



レポート



収集したデータや
停止サマリ
イベントログ等を
長期間保存します



アラート



メールや音等
色々な通知方法を
組合せて
異常を知らせます



オプション



InterMapper RemoteAccess



InterMapperサーバを遠隔操作します
マップ表示やメンテナンスが
可能になります



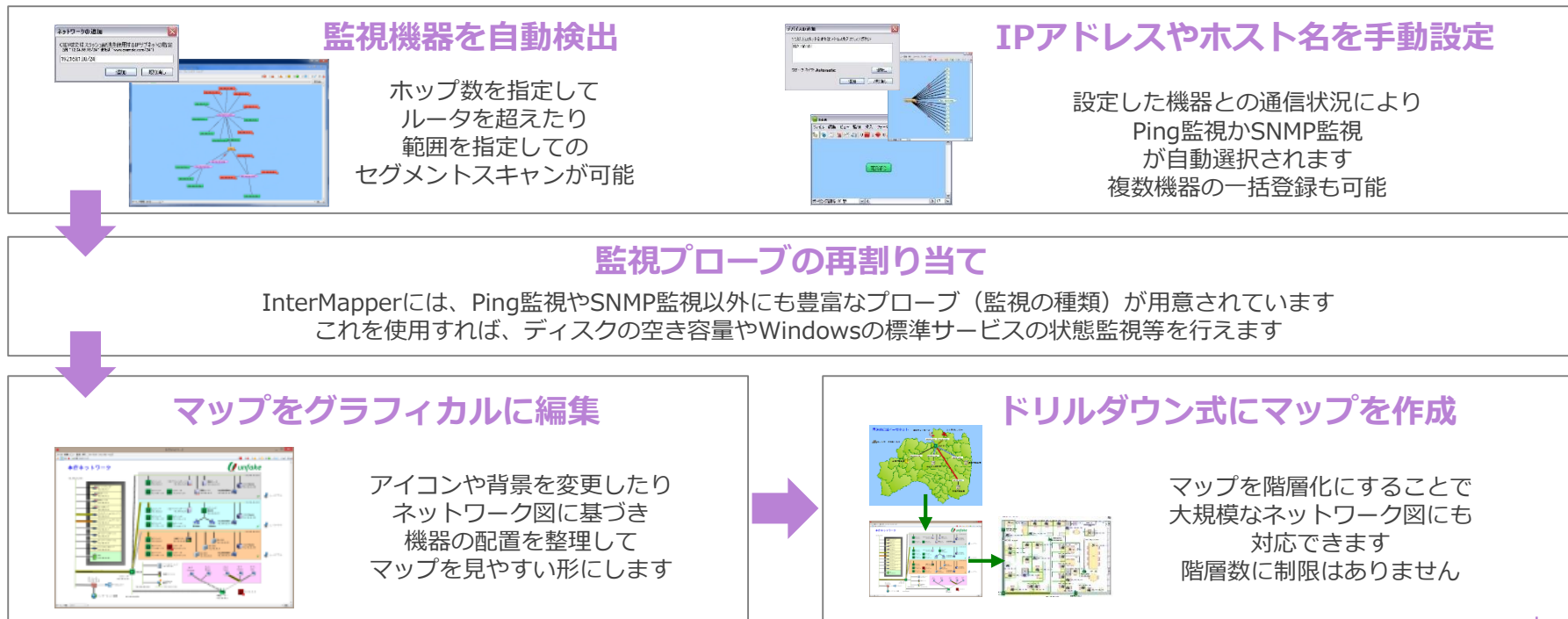
InterMapper Flows



Flow対応スイッチからエクスポート
情報を読み出しグラフ化します

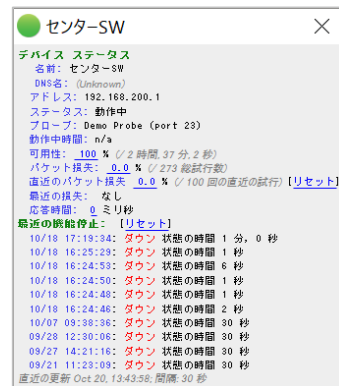
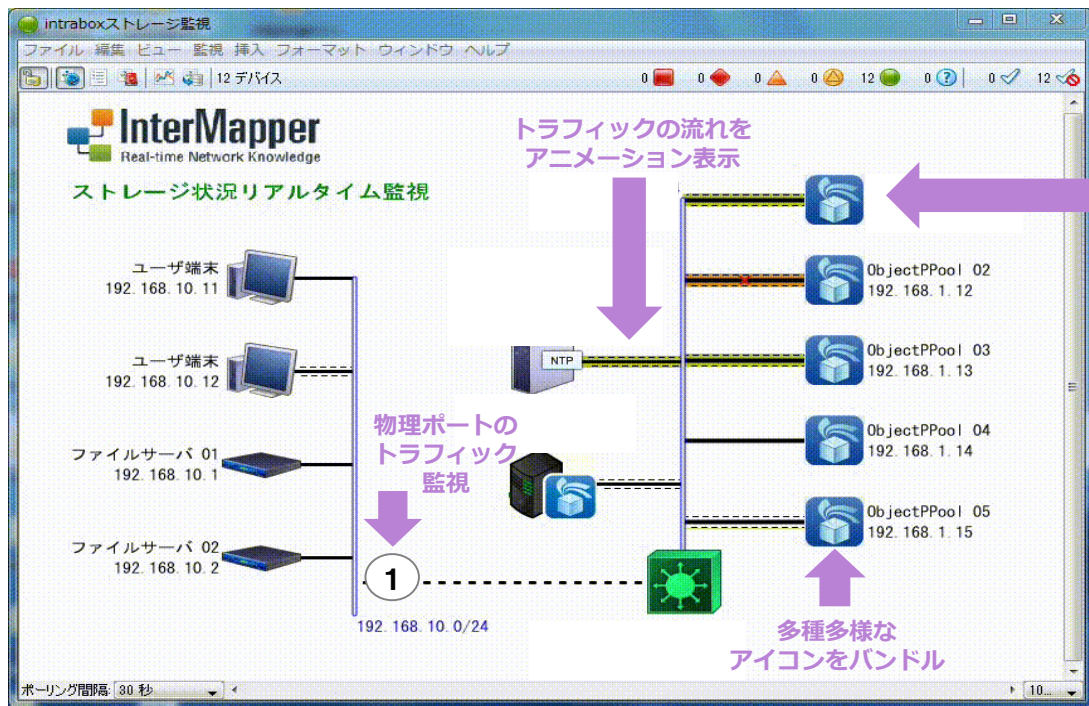
InterMapperサーバー機能(マッピング)

InterMapperサーバーに実装されているマップエディタを使用して監視マップを作成します。

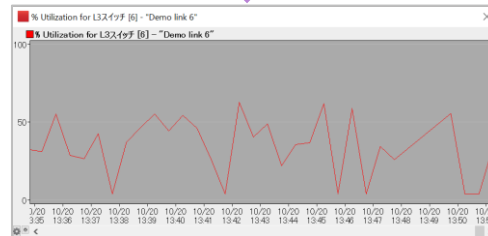


InterMapperサーバー機能 (モニタリング)

グラフィカルなマップにアニメーション付きでネットワークの状態が表現されますので、ネットワークに詳しくない方でも状況の把握が容易にできます。



ステータスウィンドウで
デバイスやリンクラインの
詳細な状態を把握

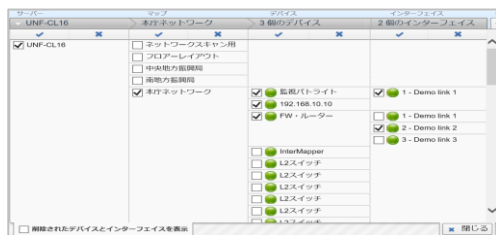


収集データを
時系列に
グラフ表示

InterMapperサーバー機能(レポート)

長期に渡り収集したデータをWebブラウザ上で簡単にレポート表示することができます。トラフィック量やログ情報を解析することにより、ネットワークに潜むボトルネック特定等の指標データとして活用できます。

レポート表示したいデバイスやリンクラインを選択し



イベントログ表示

ステータス	時間	マップ	デバイス
🟡	2016-10-20 14:32:45	本庁ネットワーク	FW・ルーター
🟢	2016-10-20 14:33:15	本庁ネットワーク	FW・ルーター
🟢	2016-10-20 14:32:15	本庁ネットワーク	FW・ルーター
🟡	2016-10-20 14:31:45	本庁ネットワーク	FW・ルーター
🟢	2016-10-20 14:25:15	本庁ネットワーク	FW・ルーター
🟡	2016-10-20 14:24:45	本庁ネットワーク	FW・ルーター

長期解析

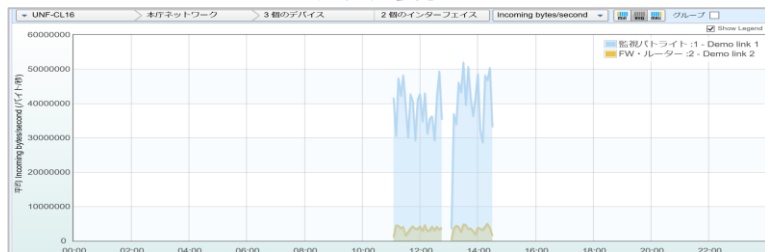
停止サマリ表示

ステータス	マップ	デバイス	インターフェイス	イベント	idName	Severity	idStatus
🟢	本庁ネットワーク	FW・ルーター		3	Demo link 3	0.00	0.00
🟢	本庁ネットワーク	FW・ルーター		2	Demo link 2	0.00	0.00
🟢	本庁ネットワーク	監視バトライト		1	Demo link 1	0.00	0.00
🟢	本庁ネットワーク	FW・ルーター		1	Demo link 1	0.00	0.00

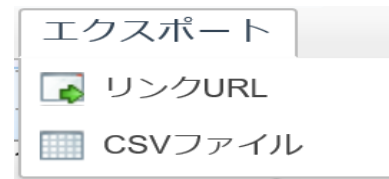
オーバービュー表示

マップ	デバイス	インターフェイス	イベント	idName	Oct 20	値
本庁ネットワーク	FW・ルーター		3	Demo link 3	🔴	🟢
本庁ネットワーク	FW・ルーター		2	Demo link 2	🔴	🟢
本庁ネットワーク	監視バトライト		1	Demo link 1	🔴	🟢
本庁ネットワーク	FW・ルーター		1	Demo link 1	🔴	🟢

グラフ表示



CSVファイルへのエクスポートも可能



InterMapperサーバー機能(アラート)

InterMapperは、ネットワークの異常を検知すると、指定された方法でアラートを発砲します。アラートは最大4レベル（軽微～ダウン）で重要度を振り分けることができ、それぞれのレベルに応じた発砲方法を設定することも可能です。

アラート通知

電子メールや音等により管理者に異常を通知します。外部連携も可能で、例えばSNMP Trapを上げて赤色灯を呼応したり、コマンド実行機能により別アプリケーションを起動できます。

ネットワークの自動スキャン

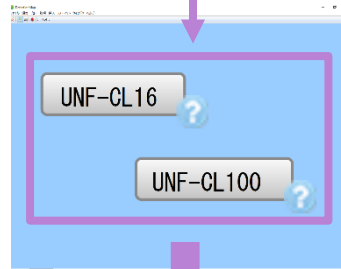
指定時刻にネットワークをスキャンし、前回スキャンとの差分により、新たに検出された機器があると管理者にアラートを発砲します。不正接続機器の発見等に活用可能です。

アラートの種類



アラートを発砲する時間帯の指定

新たに検出された機器



アラートを発砲

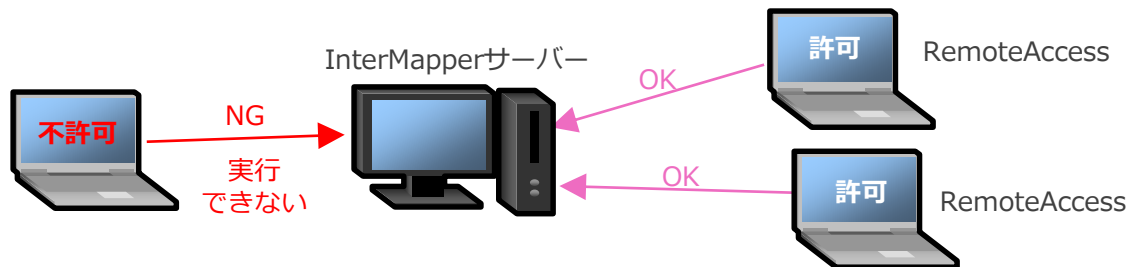


オプション (InterMapper RemoteAccess)

個別ライセンス

許可されたPCにRemoteAccessアプリケーションをインストールして使用方法

個別ライセンス2
パックを購入した
場合の例

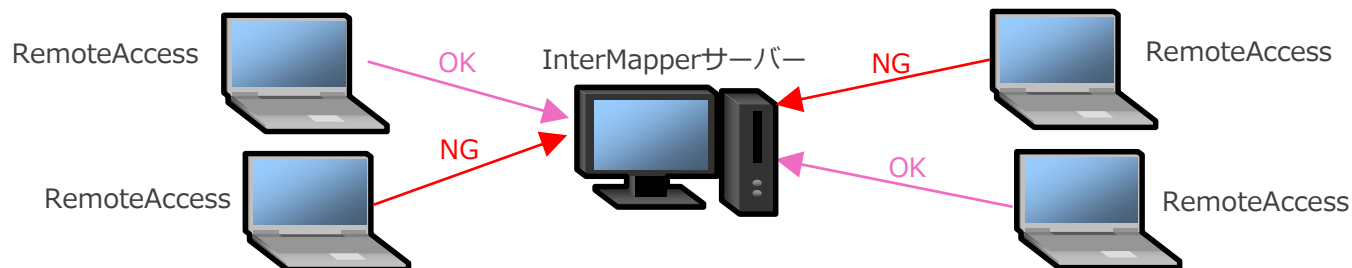


プールライセンス

どのPCにRemoteAccessアプリケーションをインストールしても良いが、同時にアクセスできる台数が縛られる

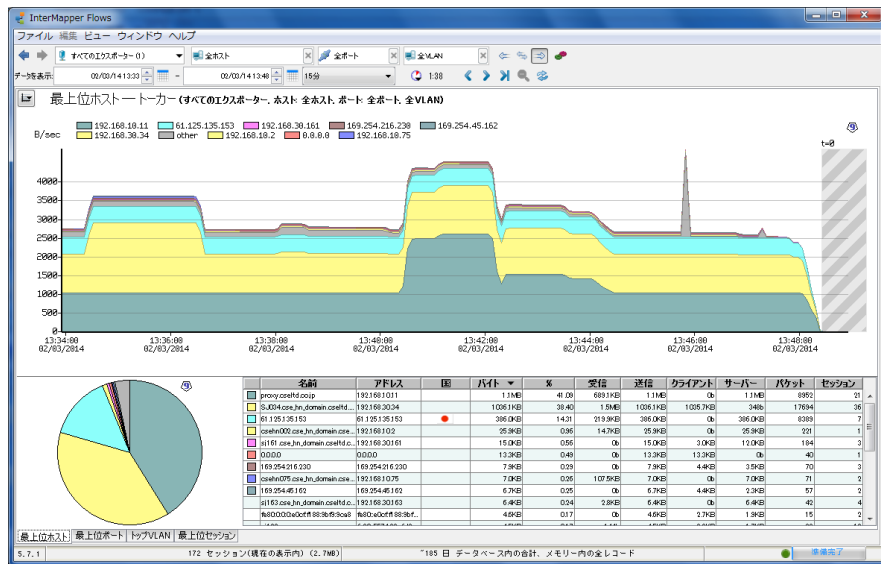
同時アクセス
2パックを購入
した場合の例

1台がアクセス
を終了すれば
別の1台が
アクセスできる



オプション (InterMapper Flows)

InterMapper Flowsは、InterMapperサーバーのオプション機能として提供されます。InterMapperサーバーはトラフィック量をグラフ化しますが、トラフィックの内容をモニターすることはできません。これを可能にするのがInterMapper Flowsです。ネットワークを圧迫しているデータを特定することが可能となります。



- ✓ 通信量が多いトーカー（送信者）とリスナー（受信者）をグラフ化
- ✓ 通信量が多いプロトコル
- ✓ 活動量が多いポートとポート同士の比較
- ✓ 活動量が多いVLANsとVLANs同士の比較

モニターしたい機器のIPアドレスを指定することで、複数の機器のFlowエクスポートを表示可能

Flowエクスポートの解析は、Flow対応の機器が必要になります

InterMapper連携ソリューションwithBOM

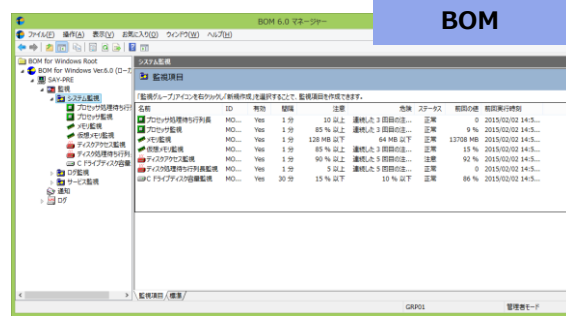
サーバー監視ソフト「BOM for Windows」とInterMapperは首尾一貫とした連携が可能で、管理者はInterMapperのマップ画面から全てのアクションを行うことが可能となります。



InterMapperマップ上のアイコンがアラート状態になり異常が管理者に通知されます

リソース監視	イベント・テキストログ監視
サービス・プロセス監視	レスポンス監視

- ✓ GUIによるシンプルな設定画面
- ✓ サーバーの詳細な情報をモニタリング可能
- ✓ テンプレートによる設定の省略化
- ✓ サーバ稼働はレポートで容易に把握が可能
- ✓ 豊富な実績が裏付けする高信頼性（リリースから10年以上）



アイコンダブルクリックでBOMの管理画面を呼び出し、詳細な原因を特定

料金プラン

InterMapperは、監視対象機器の台数（ライセンス）に応じた価格でご提供され、10台～1万台、及び無制限までの価格をご用意しております。
初年度は、ライセンス費用＋保守費用、次年度以降は保守費用のみとなり、保守費用は単年～最長10年までの複数年契約が可能です。
また、用途に応じて様々なご提供プランをご用意しております。

通常ライセンスでのご提供

監視対象機器の台数に応じたライセンス価格と保守費用でご提供されるプランです。次年度以降は保守費用のみでご使用頂けます。保守費用の複数年ご契約も可能です。

サブスクリプションでのご提供

1年毎にご契約するプランで、毎年の更新が必要になりますが、通常ライセンスよりも格安でご提供しております。監視対象機器は最大100台です。ご使用の途中から通常ライセンスに切り替えることも可能なので、InterMapperをお試しでご使用頂くには最適のプランです。

保守費用について

InterMapperの保守費用は、更新の都度、前年の価格から5%程度値上がりします。よって、複数年のご契約をお勧め致します。複数年のご契約では、次回保守更新価格（初回保守価格）×契約年数となる為、複数年ご契約期間内では5%の値上がりが発生しません。

ケーススタディ

1. 岡山県新庄村役場様・情報ステーション設備の監視

Wi-Fi情報ステーション設備の死活監視に導入。アニメーションによるネットワークの可視化を行い、特別なスキルがなくても怪しい箇所の切り分けが可能になりました。また、Flowエクスポート解析による通信データの詳細な解析が可能になった為、大量のデータを送出しているデバイスの特定が容易になりました。

2. あいの風とやま鉄道株式会社様・遠隔監視

金沢管制室にInterMapperサーバーを置き、InterMapper RemoteAccessを使用して富山本社でリモート監視を実施。発券機やICゲート等のICOCAカードシステムの状態をリアルタイムに監視しています。

3. 学習院大学様・遠隔監視

キャンパス内や遠隔キャンパスで使用するネットワーク機器の状態を監視。現場に出向くことなく、機器のステータスを把握することが可能になりました。また、価格が安価であったことから大きな投資効果が得られました。

4. 目白大学様・障害分析

校地・校舎ごとのレベルでネットワークの状況（スループット、トラフィック量、障害発生の有無）の把握が可能になり迅速な障害状況の特定に有効に機能しています。

5. 明治大学様・教育設備監視

学習設備の監視に使用しています。設備のダウンだけではなく、パケットロスや遅延も監視可能なので、遅いという状態が発生した時の原因特定に有効な手段です。ネットワークの監視状況は、大画面ディスプレイに表示されています。

他、数多くの自治体・文教・医療分野、及び企業に導入されています。

6. 海外導入事例





セイ・テクノロジーズ株式会社

<https://www.say-tech.co.jp>

お問い合わせ先：東京都文京区水道1丁目12-15 白鳥橋三笠ビル8階

TEL：03-5803-2461 FAX：03-5803-2463

e-mail：sales@say-tech.co.jp



Find us on Facebook

<http://www.facebook.com/SayTech.Japan>